

2023年10月23日



「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について  
 ～豊田電気株式会社のサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）は、豊田電気株式会社（代表取締役 芳賀 孝之）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

## 記

1. 契約締結日 2023年3月31日（金）
2. 融資金額 50百万円
3. モニタリング期間 5年
4. 資金使途 事業資金
5. PIF 評価書 添付資料をご参照ください。

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。  
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

## 6. 豊田電気株式会社の概要

代 表 者	芳賀 孝之
本社所在地	愛知県豊田市元町 68 番地 3
業 種	電気工事業
設立年月日	1973年12月19日

## &lt;記念盾贈呈式の様子&gt;



（左から順に）  
 豊田電気株式会社 取締役 芳賀 亮介 氏  
 豊田電気株式会社 代表取締役 芳賀 孝之 氏  
 株式会社名古屋銀行 豊田南支店長 外山 洋介

以上

# ポジティブインパクトファイナンス評価書

## ～豊田電気株式会社～



2023年10月23日  
株式会社名古屋銀行  
法人営業部 法人コンサルティンググループ

## はじめに

株式会社名古屋銀行は、豊田電気株式会社に対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎん PIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、豊田電気株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

## 借入人概要

借入企業	豊田電気株式会社
所在地	愛知県豊田市元町 68 番地 3
従業員	62 人（2023 年 6 月時点）
売上高	1,824 百万円（2023 年 6 月時点）
事業内容	電気工事業

## 融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	50,000,000 円
資金使途	運転資金
融資・モニタリング期間	5 年

## 目次

1. 企業情報	.....
①会社概要	
②沿革	
③事業概要	
④企業理念	
2. 事業内容	.....
①制御盤設計、施工管理	
②自治体向け事業	
③事業部門	
3. その他の活動・CSR活動	.....
①ISO 認証	
②従業員に対する取組	
③SDGs に関する取組	
4. インパクトの特定	.....
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図	
③国内のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI	.....
①ポジティブインパクトの拡大	
②ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制	.....
7. モニタリング方法	.....
8. 総括	.....

## 1. 企業情報

### ①会社概要

会社名	豊田電気株式会社
創業年月	1972年7月
資本金	36,000,000円
代表者	代表取締役 芳賀 孝之
決算日	6月30日
従業員数	62名（2023年6月時点）
本社所在地	愛知県豊田市元町68番地3
神戸営業所	兵庫県神戸市中央区脇浜町2丁目11番14号 現代神戸ビル4階
新生町営業所	愛知県豊田市新生町4-1（住友ゴム工業（株）名古屋工場内）
宮崎営業所	宮崎県都城市都北町3番（住友ゴム工業（株）宮崎工場内）
事業内容	産業用生産設備の自動制御盤及び制御回路の設計、製作、インライン、メンテナンス業務 ロボットティーチング、タッチパネル及びPLCのプログラミング業務 各種電気工事（公共設備、工場内配線、生産設備機側配線等）
関連会社	トヨデンサービス株式会社




本社

## ②沿革

年月	概要
1972年07月	創業 住友ゴム工業（株）名古屋工場の常駐協力企業（電気工事保全部門）として発足 5年後住友ゴム工業（株）の各工場の電気工事も行うようになる
1981年09月	オートタイヤ（株）宮崎工場の常駐協力企業となり都城営業所開設
1982年04月	加古川工場のテニススポーツ等の生産ライン自動化により開発部を新設
1984年04月	日本電装（現：（株）デンソー）系列企業のソフト開発及び試作関係業務を始める 開発部の業務拡大のため、豊橋開発センターを開設
1988年03月	開発部を分離独立させ、TDK システム開発（株）を設立
1997年04月	豊田電気工事（株）より豊田電気（株）に社名変更
2003年07月	大阪営業所を開設
2004年06月	都城営業所を宮崎営業所へ名称変更
2007年08月	神戸営業所を開設（大阪営業所閉所）
2009年02月	ISO 9001 / 14001 認証を取得
2009年09月	タイ駐在員事務所を開設
2010年08月	Toyoden International Future Pathfinder (Thailand) を設立（タイ駐在員事務所を閉所）
2014年09月	本社にトレーニングセンターを建設 神戸営業所の事務所移転
2019年06月	子会社の TDK システム開発（株）を吸収合併
2021年04月	SDGs に賛同し、とよた SDGs パートナーに登録
2021年12月	Toyoden International Future Pathfinder (Thailand) を閉所
2022年07月	創業 50 周年を迎える
2023年05月	EcoVadis 社のサステナビリティ評価で「ブロンズ」を獲得

### ③事業概要

当社は1972年に住友ゴム工業株式会社名古屋工場の常駐協力企業として発足以降、生産設備の制御部門及び工場電気設備の新設・更新・改善・改修・保全の仕事を受注し、主要受注先である住友ゴム工業株式会社と共に規模を拡大し、住友ゴム工業株式会社の多くの工場の生産設備において欠かすことの出来ない存在となっている。

創業25周年の1997年には、豊田電気工業株式会社から豊田電気株式会社と改称し、以降は産業用自動制御盤の設計製作及び、それに付随する電気工事を主業務として、電気ならびに電子技術を活かしたさまざまな業務に取り組んできた。主要受注先である住友ゴム工業株式会社に加え、豊田市を中心とした公共工事も請負うことで、地元の公共施設や電気設備の維持発展にも貢献している。電気を中心としたエンジニアリングの力と現場からの発想を基礎として、技術のトータルコーディネーターとしてステークホルダーの期待に応えている。

当社は豊田市との連携にも注力しており、様々なSDGsに関する取組にも積極的に参加、賛同している。自社でのSDGs宣言をはじめとし、健康経営やISO認証等の取得など、ステークホルダーやエンドユーザー、従業員に対しても持続可能な社会実現へ向けたアプローチを実施している。



#### ④企業理念

### 基本理念

(国際) 社会で必要とされる企業体をサポートし、  
持続可能な社会の担い手となります

知識や経験に裏付けされた『確かな技術力』を追求し、  
期待と信頼に応える自律型提案企業となります

お互いを尊重し、支え合い、  
チームプレーを通じて成長し続けられる社員と共に歩みます

当社の基本理念は、ファクトリーオートメーションによる産業への寄与と電気工事によるインフラ整備を通して持続可能な社会に貢献することを掲げている。そのプロセスはステークホルダーとしての地位を確立する為の技術力を磨き、確かな信頼を獲得することで実現可能であるとしている。

また、その為には企業の社員一人一人が相互理解し支えあいながら成長することが重要であり、従業員に対する支援も積極的に行うことを規定している。

また、上記基本理念を基に「パーパス (存在意義)」、「ビジョン (目標とする姿)」を明瞭化することで、役員から従業員一人一人が同じ将来像を共有することが出来ている。

**エンジニアリングを探究し  
地域と産業を支え続ける**

パーパス

**自律型提案企業として  
技術のトータルコーディネーターになる**

ビジョン



## 2. 事業内容

### ① 制御盤設計、施工管理

当社の主要業種は工場内における配電や生産ラインの電気工事業であり、高度な技術と多くのノウハウにより緻密な設計、施工管理が可能となっている。特に当社は住友ゴム工業株式会社のライン設計と電気設備の管理・維持を一手に担っており、タイヤ生産設備を中心とした制御盤のハード図面から、PLC（プログラマブル・ロジック・コントローラ）の回路等を設計開発し、製作から試運転、客先生産ラインへの立上げまで、一貫した自社内対応の自動制御盤の設計製作に取り組んでいる。それら生産設備に関わる配線業務も自社で対応しており、設計と施工の両翼のプロフェッショナルが高品質な生産設備を実現させている。

本社及び全営業所に電気に関する技術部門があり、それぞれ東海地区・九州地区・関西地区での設計・施工管理が可能となっており、各拠点のネットワークにて設計・施工管理・SV業務を受け持っている。

国内外のあらゆる地域のお客様のニーズに対応できる、設計者・施工者の体制が整っている。



営業本部 受発注業務報告風景

受発注業務の報告、検証を経て、顧客からの各種要求事項を満たすために、蓄積してきたノウハウとチームの連携及びISO9001/14001に裏打ちされた統合マネジメントシステムによって、営業～設計までのプロセスを確立し、安全かつ高品質なサービスの提供を実現させる。



WEB会議風景

設計・施工管理のための図面づくり、プログラムづくりは、電装技術部やメカトロニクス部が中心となった製造現場を熟知した専門の設計者が行い、入念なチェック及びデバッグにより品質をより高めていく。こうして設計されたプログラムを生産現場の設備にインストールし試運転をすることで、顧客の生産設備のインライン（生産設備を生産ライン・生産計画に組込めるようにすること）に貢献している。



電装技術部設計風景



制御盤設計例



操作盤設計例



制御盤設計例

## ②自治体向け事業

当社は上記のような工場内工事に加え、自治体等から施設の電気工事、整備も請け負っており、地元豊田市のインフラを支えている。

自治体からの受注は多岐にわたり、豊田市内の電気照明工事や豊田スタジアムの配電整備、小学校の新築電気工事などあらゆる電気工事に当社のノウハウが活かされている。

工事名称	受注先
豊田市役所 次世代自動車充電インフラ設備工事	豊田市
豊田スタジアムピッチ音響設備改修工事	豊田市
豊田市営美和住宅 建設電機設備工事	豊田市
豊田市第2浄水小学校 新築電気設備工事	豊田市
豊田厚生病院保育所 電気設備工事	JR愛知厚生連
岡崎警察署 非常用発電機等改修工事	愛知県警察本部
(仮称) 松平地域体育館新築電気工事	豊田市
豊田市立崇化館中学校ほか4校避難所停電対策設備改修工事	豊田市
豊田市立小中学校体育館及び武道館LED化整備事業	豊田市

公共工事一覧 (一部)



街灯電気工事



豊田スタジアムピッチ音響設備改修工事

### ③事業部門

当社は前述の電装技術部、メカトロニクス部に加え施工技術部、管理部門で形成されており、それぞれの部署が連携し合うことで円滑な施工サービスを提供することが出来ている。

電装技術部は、主に住友ゴム工業株式会社のタイヤ生産設備の電気制御部分の設計開発を手掛ける。豊田電気は住友ゴム工業株式会社のタイヤ生産に関する全工程に携わっており、国内工場から海外工場、始めのゴム練り（ミキサー）から最後の出荷検査工程まで、専門性の高い制御技術で支援する。当社は本社に加え、全国に3拠点の営業所（神戸営業所、新生町営業所、宮崎営業所）を展開しており、この営業拠点を電装技術部が統括している。クライアントの要求事項に合わせてきめ細やかなハード図面及びソフト回路を設計し、生産設備の試運転から立上げまでを一気通貫で請け負うことで、スピーディかつ正確な施工が可能となっている。



電装技術部

メカトロニクス部が対応するクライアントは大規模な生産設備を所有する自動車部品工場が多く、生産設備の全体的な設計・改造からロボットティーチングまで幅広く対応する。生産設備は大別すると「電気」と「機械」の仕事が存在し、メカトロニクス部はその両方に対応し工場設備をトータルコーディネートする。技術発展の著しい自動車工場の要求する高度なFA（ファクトリー・オートメーション）を、最先端の技術と積み重ねてきたノウハウで実現し、製造業の基盤を支えている。



メカトロニクス部

施工技術部のクライアントは自動車生産工場や豊田市を中心とした官公庁であり、公共施設の大掛かりな電気工事から生産設備向けの特種な配線工事まで多様な施工を担当する。それぞれの現場に対応した電気工事を安全第一に施工管理し、設備や建屋に電気を吹き込んでいく。電気工事そのものよりも施工管理業務がメインであり、無事故無災害で高品質な竣工に向かうべく、受注先との交渉や工程管理等を行なっていく部門である。



施工技術部

管理部門は各技術部門のサポート及び会社運営をするために、総務部や管理部にて構成される。伝票処理や備品管理、労務総務といった事務的な仕事はもとより、当社の組織循環を更に良化する為、各種新規提案や業務改善案も積極的に推進し、各部署と連携を図る。幅広い知識と視野をもって、常に技術者に寄り添い二人三脚で当社を前進させる業務のジェネラリスト集団である。カーボンニュートラルへ向けたCO2排出量の算定や、健康経営等の取組は管理部門に統括し、SDGs達成へ向けた取組を発案、企画、管理を行っている。



絆をつくる、明日へつなぐ。



名古屋銀行



管理部門

### 3. その他の活動・CSR活動

#### ①ISO 認証

当社は、環境及び品質マネジメントシステムを形成し、ISO 認証を取得している。2011年2月の取得以降、継続して更新をしており、統合方針に実践のための2017年には統合マネジメントシステムを構築し、社員に周知徹底、維持管理し、有効性の継続的改善に取り組んでいる。

## 統合方針

私たちは、知識や経験に裏付けされた「確かな技術力」を活かし、

お客様の満足のゆく優れた品質の製品を提供します。

又、地球環境を未来に引き継いでいくために、

環境負荷の低減と環境汚染の予防に積極的に取り組み、持続可能な社会を目指します。

これにより、企業の発展と社会貢献を行います。

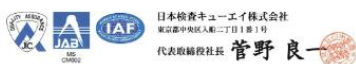
1. 統合方針を達成するために品質目標及び環境目標を設定します。  
当社は、これを達成するための活動を計画し展開します。
2. 適用可能な法令・規制事項及び組織が同意するその他の要求事項を順守し、顧客ニーズを把握、理解し、顧客要求事項を満たし、顧客の期待に応えるよう努めます。
3. この統合マネジメントシステムは、関係するすべての社員の参画とチームプレーによってその能力を発揮するものであり、社員が方針に添った業務を遂行するために、統合マニュアル及びこれに関連する規定類の内容を熟知するように努めます。
4. 統合方針に添った業務を遂行する為必要なプロセスからなるシステムを明確にし、運用します。
5. 統合マネジメントシステムの要求事項への適合性及びその有効性の継続的改善を達成します。
6. 情報を正確に分析することにより効果的で信頼できる意志決定を行います。
7. 顧客又は外部提供者との互助関係を築き上げることで、お互いの発展と社会への貢献を目指します。
8. 統合方針は、外部の一般人より要求があった場合、書面により提供します。

### 統合マネジメントシステム



登録組織：豊田電気株式会社  
所在地：愛知県豊田市元町68-3  
登録範囲の品質マネジメントシステムは、当社による事業の成果、下記の適用規格の要求事項に適合していることを示します。  
適用規格：ISO 14001:2015/JIS Q 14001:2015  
登録範囲：生産設備などの自動制御装置の設計・製造（一部外部委託）及び電気工事  
登録範囲に含まれる事業所：  
本社：愛知県豊田市元町68-3  
【生産設備などの自動制御装置の営業・設計・管理・電気工事】  
別子事業所：愛知県豊田市元町4-1  
【生産設備などの自動制御装置の電気工事】  
宮崎営業所：宮崎県宮崎市北町3  
【生産設備などの自動制御装置の営業・設計・電気工事】  
神戸営業所：兵庫県神戸市中央区福通町2-11-14 近代神戸ビル4F  
【生産設備などの自動制御装置の営業・設計・管理】

登録番号：E2193 更新日：2023年 2月10日  
初回登録日：2011年 2月10日 有効期限：2026年 2月 9日  
更新決定日：2023年 1月12日



登録組織：豊田電気株式会社  
所在地：愛知県豊田市元町68-3  
登録範囲の品質マネジメントシステムは、当社による事業の成果、下記の適用規格の要求事項に適合していることを示します。  
適用規格：ISO 9001:2015/JIS Q 9001:2015  
登録範囲：生産設備などの自動制御装置の設計・製造（一部外部委託）及び電気工事  
登録範囲に含まれる事業所：  
本社：愛知県豊田市元町68-3  
【生産設備などの自動制御装置の営業・設計・管理・電気工事】  
別子事業所：愛知県豊田市元町4-1  
【生産設備などの自動制御装置の電気工事】  
宮崎営業所：宮崎県宮崎市北町3  
【生産設備などの自動制御装置の営業・設計・電気工事】  
神戸営業所：兵庫県神戸市中央区福通町2-11-14 近代神戸ビル4F  
【生産設備などの自動制御装置の営業・設計・管理】

登録番号：4338 更新日：2023年 2月10日  
初回登録日：2011年 2月10日 有効期限：2026年 2月 9日  
更新決定日：2023年 1月12日



ISO 認証

②従業員に対する取組

当社は働き方改革、研修制度、資格取得奨励等、従業員向けの福利厚生充実に對しても積極的に取り組んでいる。毎年新入社員向けの研修を実施し、講習や現場実習を通して当社の業務内容を理解するとともに、当社の事業が社会にどのような影響を与え、持続可能な社会へ貢献しているかを把握することに重点を置いている。

現場実習においては、長年の経験と実績をもつ先輩社員が、座学や作業標準だけでは伝えきれない実践的知識や技術を現場にて教えており、この実習訓練を通して、現場における若手技術者の技術・管理・渉外・安全といった、様々な面でのレベルアップに寄与している。

OJTにおいては、年に2回のフィードバック面談も実施する。現時点のスキルの確認と教育方針の見直しを細やかに行うことで誰ひとり取り残さない教育システムの確立をしている。この取組も踏まえて、2022年には豊田市から「はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰」においてイキイキ賞を表彰されている。



表彰状



新人研修の様子

研修に加えて、必要とされる様々な資格の取得に関しては、当社が受験費用、テキスト代、講習代を負担することでサポートしている。また、第二種電気工事士については社内で資格取得講座を開設しており、未経験者でも1年で取得できる体制を整えることで従業員の自信とやる気の向上を支援している。

取得する資格は多岐にわたり、第一～二種電気工事士をはじめとして、1～2級電気工事施工管理技士、建設業経理士1～2級、フォークリフト、高所作業車など、様々な専門技術を取得し、現場作業や設計に活用している。

従業員それぞれで保有している資格をそれぞれ管理し、インセンティブや表彰を通して従業員の技術力向上に取り組んでいる。



社内研修の様子

全社資格保有リスト

資格名	保有者	資格名	保有者	資格名	保有者	資格名	保有者	資格名	保有者
第一種電気工事士	〇	第一種電気工事士	〇	第一種電気工事士	〇	第一種電気工事士	〇	第一種電気工事士	〇
第二種電気工事士	〇	第二種電気工事士	〇	第二種電気工事士	〇	第二種電気工事士	〇	第二種電気工事士	〇
第一級電気工事施工管理技士	〇	第一級電気工事施工管理技士	〇	第一級電気工事施工管理技士	〇	第一級電気工事施工管理技士	〇	第一級電気工事施工管理技士	〇
第二級電気工事施工管理技士	〇	第二級電気工事施工管理技士	〇	第二級電気工事施工管理技士	〇	第二級電気工事施工管理技士	〇	第二級電気工事施工管理技士	〇
建設業経理士	〇	建設業経理士	〇	建設業経理士	〇	建設業経理士	〇	建設業経理士	〇
フォークリフト	〇	フォークリフト	〇	フォークリフト	〇	フォークリフト	〇	フォークリフト	〇
高所作業車	〇	高所作業車	〇	高所作業車	〇	高所作業車	〇	高所作業車	〇

当社の資格者管理

③SDGs に関する取組

当社の SDGs に関する取組、上記 ISO 認証に加えて、環境や健康経営など様々である。当社はその取組を 2021 年に SDGs 宣言としてまとめており、その年には豊田市がとりまとめる「とよた SDGs パートナー」として登録されている。



SDGs 宣言



パートナー登録証



過程修了証書

また、環境面においては、自社の CO2 排出量を測定し、パリ協定に準じて、「2030 年までに基準年度の 2018 年から 46%削減し、産業革命以前に比べて 45t-CO2 に抑える」という目標を掲げている。この取組は SBT 認証を取得し、環境省 HP においても掲載されている。また、「豊田市脱炭素スクール」の第一期生として、脱炭素へ向けた地元の連携強化にも取り組んでいる。

SBT認定取得済の日本企業 2/2



- 認定取得済の企業は世界で2,310社（うち日本企業369社）
■ 世界的には食料品が、日本では電気機器、建設業が多い

すでに認定を受けている日本企業369社の一覧 2/2

中小企業：アークエレクトロニクス/豊春/愛知ホイスト工業/アイク/アイシステム/アイレック/アキスチル/あはら/アセテック/アトミビテック/アルテック/アルマックス/アルエム/アロック/サンウ/アスコ/インガ/ウェイトボックス/上田商会/内海産業/ウウル/栄四郎瓦/ARC/エコストイル/エコーパン/エコーソリューション/ F C 大阪/MIC/エレブスタ/OSW/オーガマ/ 太山印刷/大阪故鉄/大澤ワックス/大野建/カーボンコンサルティング/カーボンフリーネットワーク/会堂産業/ C A G L A /カジケイ/春日井鋼材/カナック/カネヨシ/加山園芸/川瀬樹園工業/河田フーズ/河村産業/甘強造/樹井/岐阜産研工業/グー/グー/グー/KDC/京都神ビルディング/グレイ/光陽社/ゴウ/工和製作所/国府印刷社/榎原精器/佐野塗工/サハラ特殊鋼/SANSHIN Inc./三豊工作所/サントリーサイケル/三周工業/リアルエステイト投資法人/真空セラックス/新日本金属/新日本印刷/新日本金属工業/親和建設/キ工業/精密商会/創福/ルブル/大幸製作所/タイト/太田トレーディング/大宮運輸/タイゴ/タイ/竹内木材工業/タビタ/テオホールディング/中興電機/中部産運連/中部テロ/汪精機/徳金/興業/東洋硬化/東洋産業/トータルコート/栃木県集材協議会/高信/豊田電気/Drop/中島

環境省 HP より抜粋

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply\_chain/gvc/files/SBT\_syousai\_all\_20230301.pdf

さらに、当社はサプライチェーンにおける自社の役割において、グローバルとローカルの橋渡しであると位置づけ、2023年5月にEcoVadis社より評価企業の内上位50%の企業に与えられる「ブロンズ」を授与された。

TOYODA ELECTRICAL CO LTD (GROUP)
Motomachi, Toyota-shi - 日本 | 電動機、充電機、変圧器、配電及び制御装置製造業
企業規模: 5 | 審査スコア Group





#### 4. インパクトの特定

##### ①インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）により豊田電気株式会社の主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。豊田電気株式会社の業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。豊田電気株式会社の事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上・川下の事業活動については豊田電気株式会社が直接関与できないため次の事項を検討する。ポジティブ面では川上・川下の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和に豊田電気株式会社の事業が貢献できることがないか検討する。ネガティブ面では川上・川下の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

「雇用」に関しては多くの事業においてポジティブ・ネガティブの両面の影響がある。全社的な人事戦略・雇用管理などの横断的な対応について別途検討する。

②インパクト分布図（掲載は主要業種のみ）

・川上の事業

インパクトカテゴリ	川上の事業															
	【 2013 】		【 2211 】		【 2610 】		【 2630 】		【 2710 】		【 2720 】		【 2740 】		【 2790 】	
	プラスチック及び合成ゴム素材製造業		ゴムタイヤ及びチューブ製造業並びにゴムタイヤ再生業		電子部品及び基板製造業		通信装置製造業		電動機、発電機、変圧器、配電及び制御装置製造業		電池及び蓄電池製造業		電気照明器具製造業		その他の電気機器製造業	
Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）																
食料																
住居					★											
健康・衛生				★	★			★								
教育																
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー									★★		★★					
移動手段				★												
情報					★			★★								
文化・伝統																
人格と人の安全保障																
正義																
強固な制度・平和・安定																
水（質）		★★		★★		★		★		★		★		★		★
大気		★		★		★		★		★		★		★		★
土壌		★★		★★		★		★		★		★		★		★
生物多様性と生態系サービス																
資源効率・安全性		★		★		★		★		★		★		★		★
気候		★		★		★		★		★		★		★		★
廃棄物		★★		★★		★		★		★		★		★		★
包括的で健全な経済	★		★		★		★		★		★		★		★	
経済収束																

川上の事業においては住友ゴム工業株式会社を中心にゴム製品製造及び電気工事に関わる事業を抽出した。

全体として環境面にネガティブインパクトが散見される一方で、電子機器関連の分野において住居やエネルギー、情報にポジティブインパクトが見られる。

当社から川上の事業に対して能動的なアクションを起こすことは現実的ではないが、当社としてのKPIにはこれらのインパクトを拡大、緩和するものを取り入れる。

## ・ 当社の事業

インパクトカテゴリ	当社の事業											
	【 3314 】		【 4321 】		【 9522 】		【 4220 】		【 4329 】		【 3510 】	
	電気機器修理業		電気設備工事業		家庭用電気製品、住宅・園芸用機械器具修理業		公益工事業		その他の建造物設備設置工事業		発電・送電・配電業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水（入手）	★				★		★★					
食料												
住居			★★		★				★★		★	
健康・衛生								★			★	
教育												
雇用	★	★	★	★	★	★	★★	★	★	★	★	★
エネルギー			★				★				★★	
移動手段												
情報			★				★				★	
文化・伝統								★★				★
人格と人の安全保障												
正義												
強固な制度・平和・安定												
水（質）	★				★			★				★
大気	★				★			★				★
土壌	★				★			★				★
生物多様性と生態系サービス	★				★			★				★★
資源効率・安全性	★★				★★			★				★★
気候	★				★			★			★	★★
廃棄物		★		★		★		★		★		★
包括的で健全な経済	★						★★				★	
経済収束							★★	★			★★	

当社の主要業種である電気設備工事業、電気機器修理業、公益工事業、発電・送電・配電業等におけるインパクトを検証する。工場のライン設備工事や配電工事、自治体からの公共事業に付随する事業は、電気へのアクセス、情報通信などのインフラを支えることで、「エネルギー」や「情報」のカテゴリでポジティブインパクトを発揮している。一方で、工事の実施に伴うエネルギーの利用や、廃棄物の発生など、環境に関するネガティブインパクトが見られる。

ポジティブインパクトとして、当社の工場内の発電・送電工事、電気機器は電力化によるガス等の燃料消費の削減に寄与するケースもあり、大気や生物多様性と生態系サービス、資源効率・安全性に大きく貢献している。

ネガティブインパクトとしても環境関連のものがみられるが、当社は ISO14001 の継続更新と、SBT 認証に基づく温室効果ガス削減に取り組むことで、ネガティブ縮小に取り組む。

当社は、豊田スタジアムへのスポンサーを長年継続するなど地域のスポーツ振興への貢献を行うことで「健康・衛生」のポジティブインパクトを実現している。また、インパクトマッピングには現れていないが、地元の工業高校など地域の教育機関と連携し、地域の学生に工事作業などの実務を体験させるインターンシップ、仕事紹介などでの講演依頼などに対応していくことで「教育」のポジティブインパクトを発揮していく。

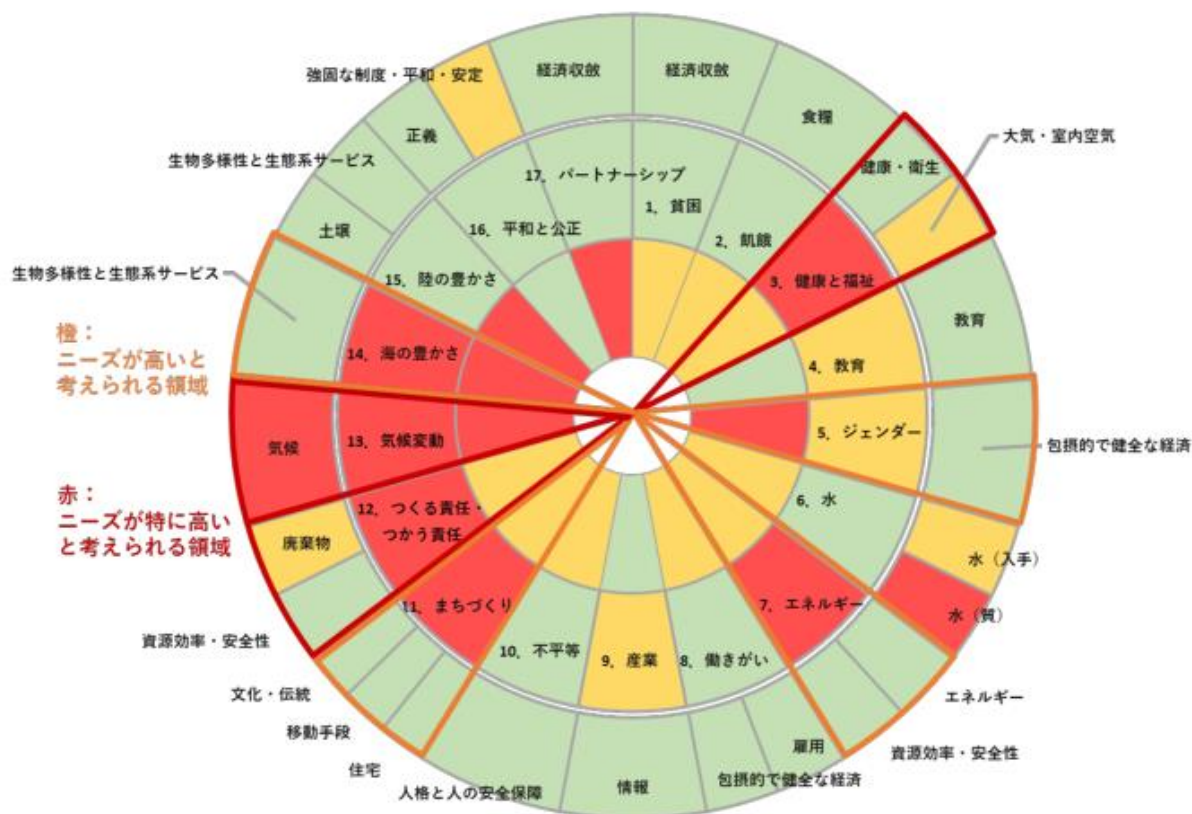
これらを踏まえ、当社は環境に関するネガティブインパクト縮小や、エネルギーに関するポジティブ

インパクト拡大を図る。

### ③国内のインパクトニーズ

環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべき SDGs を赤色、取り組むべきであるが不十分な SDGs を黄色、その他を緑色としているものである。

名古屋銀行が特定した豊田電気株式会社社のインパクトと対応する SDGs のゴール「3、6、7、8、9、11、12、13、14、15」に対して、全て赤色もしくは黄色のゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズとの整合的である。



## 5. 測定するKPI

### ①新規顧客の拡大、技術向上、SDGs への取組による経済成長（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大 経済面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「エネルギー」、「包摂的で健全な経済」
関連する SDGs	 
対応方針	新規受注先へのサービス提供と、有資格者増加によるハイクオリティな施工管理の実現
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存顧客（住友ゴム・豊田市役所）を除く売上高年間 2 億円以上を 2028 年度までに達成する。（実績開示）</li> <li>・2030 年までに 1 級電気工事施工管理技士の社内人数を 20 人以上にする。（現時点：14 人）（実績開示）</li> <li>・2030 年までに Ecovadis（サプライチェーンの持続可能性評価）評点 45 点以上を達成し、維持する。（実績開示）</li> <li>・2030 年までに豊田市 SDGs 認証制度のシルバー等級以上を取得する。（実績開示）</li> </ul>

### ②従業員のクオリティーオブライフの向上（ポジティブ拡大）



項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大、ネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	 
対応方針	働くモチベーション向上、従業員の福利厚生・労働環境の充実
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2030 年までにえるぼし認定（女性の活躍促進に関する優良企業認定）を取得する。（取組開示）</li> <li>・2030 年までに女性従業員割合を全体の 20%以上にする。（現時点：12%）（取組開示）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年までに男性従業員の育児休暇取得率（現時点：0%）を100%にし維持する。（実績開示）</li> <li>・2030年度までに従業員の残業時間を2021年度実績対比で10%削減する。（実績対比）</li> </ul>
--	--

## ③地域社会の発展への貢献活動（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」「教育」
関連するSDGs	   
対応方針	スポーツ振興を通じた地域との関わりを尊重、地元教育機関との地域社会発展へ向けた協力
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田スタジアムへのスポンサーを継続する。（取組開示）</li> <li>・地域の教育機関と連携し、体験学習、インターンシップ、講演依頼に対応する。（取組開示）</li> </ul>

## ④環境配慮・カーボンニュートラル実現に向けた積極的な取組み

項目	内容
インパクトの種類	環境面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「気候」「廃棄物」
関連するSDGs	 
対応方針	国際基準に基づいた温暖化対策、温室効果ガス削減、廃棄や施工不良の削減
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SBTに基づく温室効果ガス削減目標（2030年までに2018年対比46%削減）の達成と実績開示を維持する。（取組開示）</li> <li>・ISO14001の取得更新の継続、温室効果ガスの削減計画と廃棄物管理を継続する。（取組開示）</li> </ul>

## 6. インパクトの管理体制

豊田電気株式会社は芳賀社長を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部及び総務部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎんPIFにおけるインパクトについては、芳賀社長と管理部が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

### インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 芳賀 孝之
管理責任者	取締役 芳賀 亮介
管理部署	管理部

## 7. モニタリング方法

豊田電気株式会社に対するめいぎんPIFのモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者(法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者)により年1回以上の協議を通して実施する。年1回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定したKPIの達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証しKPIの修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPIの追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

## 8. 総括

豊田電気株式会社の事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。豊田電気株式会社がKPI達成を目指すことで社内、地域社会及び地球環境全体への大きな貢献が想定され、UNEP FIの「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。